

第5学年 国語科学習指導案

日時：平成26年10月10日（金） 5校時
児童：5年1組 男15名 女23名 計38名
指導者：竹内 義晃

【研究主題】ふるさとの復興を担う「人づくり」の展開 ～「自分から」かかわり、学びを深める児童の育成～

3年前の大震災。想定外の津波により、宮古市は大きな被害を受けた。宮古小学校は避難所となり、体育館や教室は津波から逃れてきた人達であふれかえていた。緊急事態だけに、どの教室にどんな人たちが何人避難しているのかも分からない。届く食料を均等に配りたくても、どのように配ればいいのか暗中模索の状態だった。そんな時、最も大切にしたのが「話し合う」ことだった。校長や副校長のリーダーシップのもと、職員の中で事あるごとに話し合いが行われた。また、避難している人々も教室単位で班を組織し、班長を決め、班長会議で連絡事項を伝え合ったり、食料を配ったりすることにした。誰も経験したことのない状況だったので、どのやり方が正しいのか分からない中、最善・最良を求めて互いに意見を交わし、一つの方向性を見出していった。お互いの立場や状況、気持ちを考えながら話し合い、行動することで、長期にわたる避難所生活を大きなトラブルもなく円滑に進めることができたのである。

本単元では、自分の考えをもち、一つの話題についてグループで討論することを単元を貫く言語活動として設定する。「討論」は、高学年になって初めて取り組む言語活動なので、討論の仕方を理解させるためにモデルを示したりロールプレイを取り入れたりすることで、討論のポイントを理解させたい。また、自分の考えを主張するだけでなく、相手の考えを受け止めながら討論する姿勢をどの子にも身に付けさせていきたい。

また、単元のまとめとして、「宮古市役所跡地の活用について」という話題でグループ討論をさせる。8月に、宮古市で市役所移転とその跡地の活用について住民アンケートが実施された。子どもの意見も取り入れてもらいたいという思いから、総合の時間に調べ学習に取り組み、跡地の活用について考えてきた。自分たちの生活に身近な話題を取り上げることで、討論に対する意欲を高め、活用場面を増やすことにより、討論の仕方がより定着すると考えたからである。お互いの考えを関係付けながら、考えを深めたり広げたりすることで、討論することのよさを実感できるようにしていきたい。

1 単元名 ～自分の考えをまとめて、グループ討論をしよう～

教材名 中心学習材「豊かな言葉の使い手になるためには」

補助学習材「インターネットを使って調べる」「話し合うために大切な言葉」

2 単元の構想

(1) 学習指導要領に示されている指導目標及び内容との関連

○目標 (A 話すこと・聞くこと B 書くこと)

第5学年及び第6学年の目標及び内容

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。【A 話すこと・聞くこと】
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。【B 書くこと】

○内容

①指導事項 ②言語活動例 □本単元を貫く言語活動

<A 話すこと・聞くこと>

①ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。

オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

②イ 調べたことやまとめたことについて、討論などをすること。

<B 書くこと>

①ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。

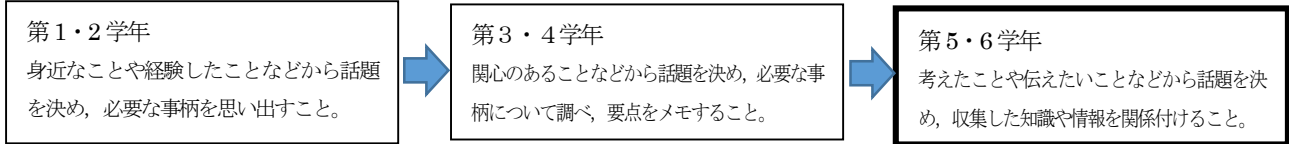
エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

②イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。

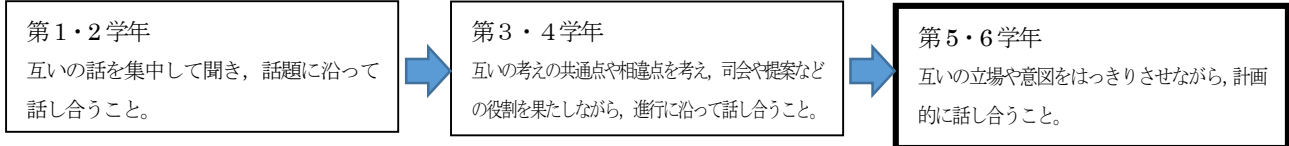
調べたことを基に自分の考えをまとめ、グループで討論する。

○学習の系統

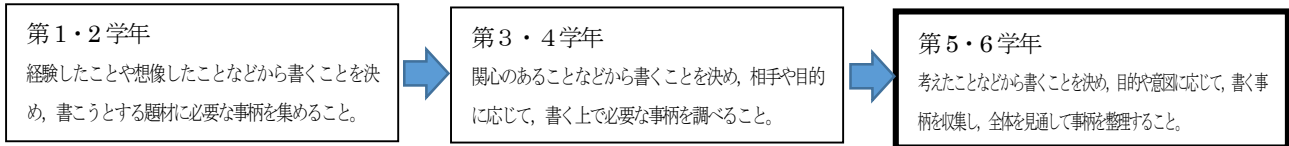
<A 話すこと・聞くこと 話題設定や取材>



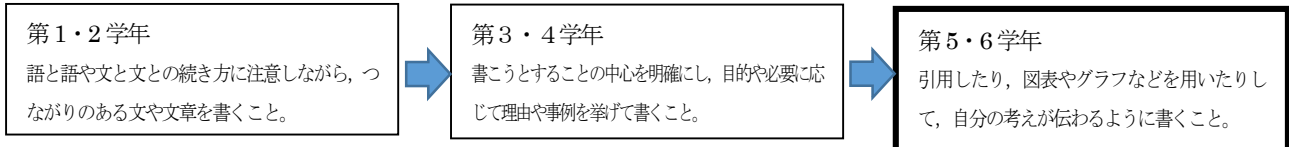
<A 話すこと・聞くこと 話し合うこと>



<B 書くこと 課題設定や取材>



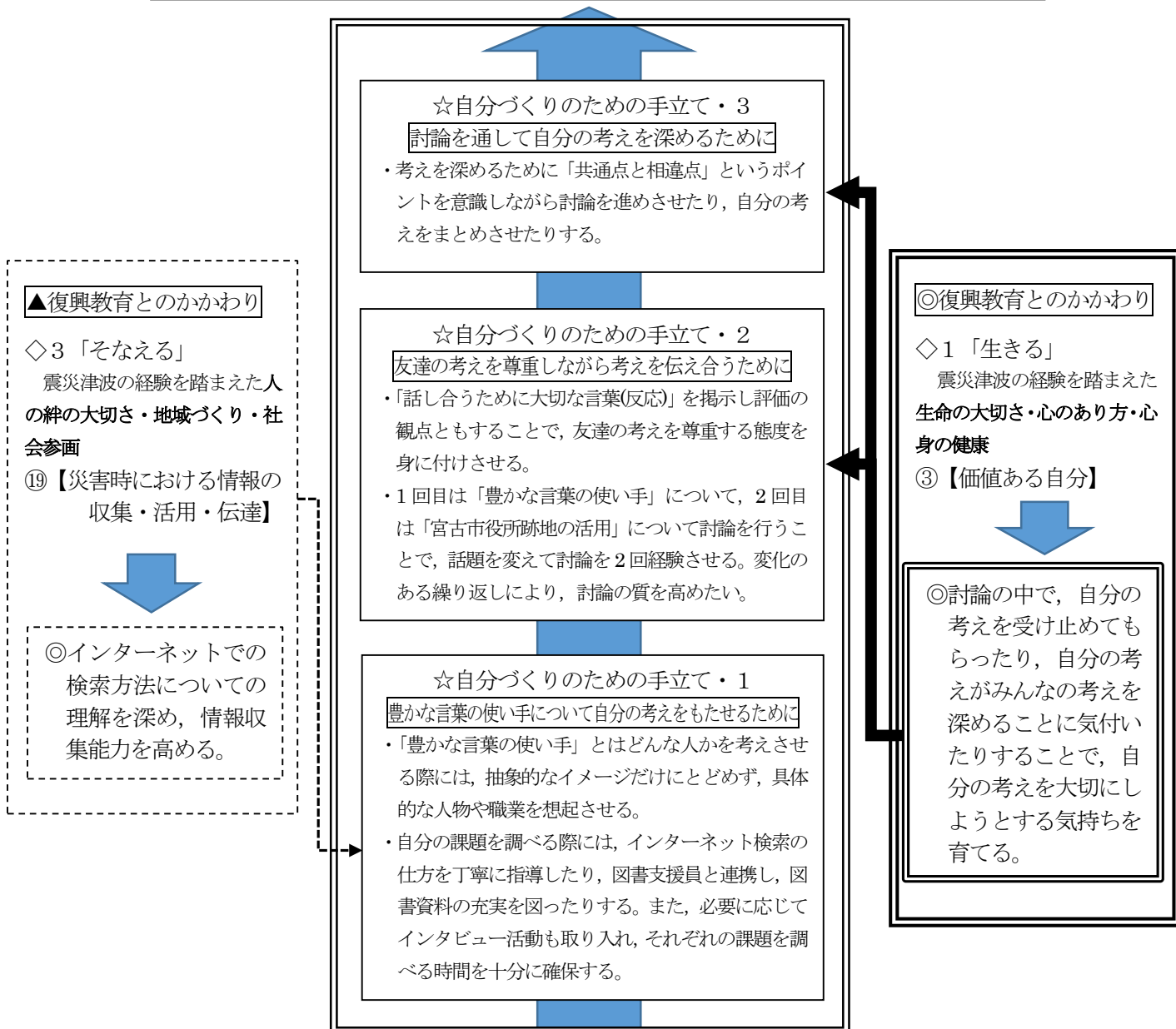
<B 書くこと 記述>



(2) 単元構想図

◎本校の復興に向かう合言葉 = 「自分から」

《本単元で目指す子どもの姿》
【伝え合う～自分づくり】
 調べたことを基に自分の考えをもち、グループ討論の中で
 友達の考えを尊重しながら意見を伝え合い、考えを深めることができる子



【児童の実態】
 ○年度当初から、朝の会でスピーチ活動を取り入れたり、ペアでの対話を取り入れたりすることで、どの子も話すことについて経験を積み重ねてきている。
 ○少人数の中では、自分の考えを語ることができる子が多い。
 ●言葉遣いが悪い子が目立ち、感情のままに話す子がいる。
 ●話し合っただけでよりよい考えを求めるといった経験が少なく、話し合いの仕方がまだ十分に身に付いていない。
 ●友達の考えを受け入れて、よりよい考えを求めようとする意識が低い。

【学習材について】
 「豊かな言葉の使い手になるためには」では、言葉の豊かさについて考えることを中心的な課題としている。言葉が「豊かである」とは何がどうであることを指すか、逆に豊かでない言葉としてどのような具体例を挙げることができるかといった考察することにより、こんな言葉の使い手になりたいというあこがれや目標をもつことができる教材である。
 また、「話し合うために大切にしたい言葉」は、相手の言葉を落ち着いて把握しようとする言葉遣いや、よりよい結論を導き出すための方法をつかませるために適している。

(3) 単元の目標

＜国語への関心・意欲・態度＞

○自分たちの言語生活に目を向け、調べて文章に書いたり、自分の考えを発表したりしようとしている。

＜話すこと・聞くこと＞

○話題を決めて、収集した知識や情報を関連付け、自分の考えを構築することができる。

○互いの考えを関係付けたり、自分の立場や意図をはっきりさせたりしながら、計画的に話し合うことができる。

＜書くこと＞

○自分の考えを構築するために、話題に関する情報集めたり整理したりすることができる。

○引用部分を明確にしなが、意見を記述した文章を書くことができる。

＜伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項＞

○語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。

3 指導と評価の計画

| 次 | 時 | 主な学習活動 | 国語科のねらい | 評価規準(評価方法) | 復興教育のねらい |
|---|---------|---|---|--|---|
| 一 | 1 | ・単元・リード文から学習課題を設定し、見通しをもつ。 | ○単元の学習課題を設定し、「学習の流れ」を確認して、学習の見通しをもつことができる。 | 【関】言葉の使い手として「豊か」や「豊かでない」とはどのようなことか具体的に考え、学習の見通しをもとうとしている。(発表) | |
| | 2 | ・「豊かな言葉の使い手」から想起する人物とその理由、豊かではないと思うことについて話し合い、自分の課題を決める。 | ○「豊かな言葉の使い手」について、マップを用いて考えを整理し、自分の課題を決めることができる。 | 【書】マップを用い、どんな言葉の使い手を目指したいのかを考え、自分の課題を決めている。(学習シート) | |
| | 3 4 | ・教科書 P97「インターネットを使って調べる」から、検索の仕方を知る。 ・図書室で参考資料となる本を探したり、インターネットを利用したりして自分の課題について調べる。 | ○自分の課題について、二冊以上の文献やインターネットなどで調べ、調べたことをメモすることができる。 | 【書】文献やインターネット、インタビューなどから、調べたことをメモしている。(学習シート) | ○インターネットでの検索方法についての理解を深め、情報収集能力を高める。(観察・ノート) ⑱【災害時における情報の収集・活用・伝達】 |
| 二 | 5 6 | ・調べたことから、「豊かさ」を生み出すもの、自分なりにできることを考え、書き出しながら整理する。 | ○調べたことから、「豊かさ」を生み出すもの、自分なりにできることを考えて、書き出すことができる。 | 【書】調べたことを整理し、共通して言えることを見付け、書き出している。(学習シート) 【話・聞】収集した知識や情報の共通点を基に、自分の考えを構築している。(学習シート) | |
| | 7 8 | ・P93の例から、文章の構成や書き方の工夫について話し合う。 ・構成や表現を工夫し、「豊かさ」を生み出すものと自分なりにできることについて、文章を書く。 | ○書き出したことを基に、構成や表現を工夫しながら、自分なりにできることについて文書を書くことができる。 | 【書】自分の考えを裏付けるよう、「豊かさ」を生み出すものについて、引用をしたり根拠を挙げたりして文章を書いている。(学習シート) | |
| 三 | 9 10 | ・教科書 P94～P96 を読み、グループ討論の進め方を理解する。 ・教科書 P98・99「話し合うために大切な言葉」を読み、討論のために必要な言葉を知る。 ・ロールプレイを通して、討論の仕方をつかむ。 | ○グループ討論の進め方、話し合いのときに大切にしたい言葉を確認し、討論の準備をすることができる。 | 【言】適切な言葉の使い方について考え、話し合うときに大切な言葉を確認している。(発表・学習シート) | |

| | | | | | |
|---|----------------|--|--|--|---|
| | 11 12 13 | <ul style="list-style-type: none"> 役割を決めて、「豊かな言葉の使い手」についてのグループ討論をする。 役割(討論する側と聞く側)を交代して、2回目のグループ討論を行う。 友達の考え、討論の仕方でもよかったことや気付いたことをメモし、伝え合う。 | ○「豊かな言葉の使い手になるためには、どうすればよいか」という話題でグループ討論を行い、互いの考えを関係付けながら話し合うことができる。 | 【話・聞】 友達の考えを受け入れながらグループ討論を進め、互いの共通点や相違点に触れて質問したり意見を述べたりして話し合っている。 (発言・相互評価) | ○討論の中で、自分の考えを受け止めてもらったり、自分の考えがみんなの考えを深めることに気付いたりすることで、自分の考えを大切にしようとする気持ちを育てる。(観察・学習シート)「いきる」 ③【価値ある自分】 |
| 四 | 14 | <ul style="list-style-type: none"> 討論の仕方についてふり返り、成果と課題を明らかにする。 豊かな言葉の使い手になるために、これからしていきたいことについて書く。 | ○討論の仕方について意見を交流し、豊かな言葉の使い手になるための自分の考えを書くことができる。 | 【書】 学習したことをもとに、自分の言葉の使い方を振り返り、考えたことを書いている。(学習シート) | |
| | 15 (本時) | <ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめとして、「市役所跡地の活用」についてのグループ討論をする。 討論の仕方について、意見を交流する。 | ○「市役所跡地をどのように活用したらよいか」という話題でグループ討論を行い、互いの考えを関係付けながら話し合うことができる。 | 【話・聞】 友達の考えを受け入れながらグループ討論を進め、互いの共通点や相違点に触れて質問したり意見を述べたりして話し合っている。 (発言・相互評価) | ○討論の中で、自分の考えを受け止めてもらったり、自分の考えがみんなの考えを深めることに気付いたりすることで、自分の考えを大切にしようとする気持ちを育てる。(観察・学習シート)「いきる」 ③【価値ある自分】 |

4 本時の学習について

(1) 目標

○「市役所跡地をどのように活用したらよいか」という話題でグループ討論を行い、互いの考えを関係付けながら話し合うことができる。

(2) 評価規準 B おおむね満足

| | |
|--------------|--|
| 話すこと・聞くこと(オ) | <ul style="list-style-type: none"> 友達の考えを受け入れながらグループ討論を進め、互いの共通点や相違点に触れて質問したり意見を述べたりして話し合っている。(発言・相互評価) |
|--------------|--|

| |
|--|
| <p>＜努力を要する児童への支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話し合うために大切な言葉(反応)」の掲示を生かし、どの言葉を使えそうか考えさせる。 |
|--|

(3) 国語科の視点、復興教育の視点からの手立て

| |
|--|
| <p>＜国語科の視点から＞</p> <p>ア 討論に対する意欲を高めるために、自分たちの地域の問題を取り上げることで、討論に対する必要感を高める。</p> <p>イ 互いの考えを尊重しながら話し合わせるために、「話し合うために大切な言葉(反応)」を掲示し、討論の評価の観点ともすることで、互いの考えを受け止めながら話し合わせる。</p> <p>ウ 互いの考えを正確につかませたり、関係付けたりさせるために、個人の考えをまとめた「討論カード」を提示しながら自分の考えを述べさせる。</p> <p>＜復興教育【自分づくり】の視点から＞</p> <p>ア 討論の中で、自分の考えを受け止めてもらったり、自分の考えがみんなの考えを深めることに気付いたりすることで、自分の考えを大切にしようとする気持ちを育てる。③【価値ある自分】</p> |
|--|

(4) 展開

| 段階 | 学習活動 (○主発問) ・期待する児童の反応 | ○教師の支援 | ◎評価 ◇目指す児童の姿 |
|-------------------------------------|---|--|--|
| つ か む 5 分 | <p>1 前時までの学習を想起し、討論のポイントとこれまでの学習で見えてきた課題を確認する。</p> <p>○討論のときに大切な言葉はどんな言葉でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なるほど。」「確かに〜。」(受け止める) ・「それなら」(次へ進める) ・「〜さんと似ている」「〜さんとは違って」(関連させる) ・「ということは」「つまり」(まとめる) <p>○討論をしてうまくいかなかったことは何でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えを受け止める言葉を使えなかった。 ・共通点を考えるのが難しかった。 ・相手の意見と関連させながら、自分の意見を言うのが難しかった。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p>○これまで学習したことを生かして、違う話題で討論してみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>これまでの学習を生かし「市役所跡地の活用」についてグループで討論し、自分の考えを深めよう。</p> </div> | <p>○掲示等を活用し、これまでの学習を想起させる。</p> <p>○「受け止める・関連させる」をキーワードに討論を進めていくことを確認する。</p> <p>○互いの考えを関連させるには、共通点や相違点を意識して聞くことが大切であることを確認する。</p> <p>○「豊かな言葉の使い手」の討論でうまくいかなかったことを確認しながら、本時の課題を明確にさせたい。</p> | <p>◇掲示を参考に、前時までの学習を想起している。</p> |
| ふ か め る 3 0 分 | <p>3 役割と討論の進め方を確認する。 <討論の進め方></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①一人ずつ自分の考えを発表する。</p> <p>②互いの考えについて質問したり、それに答えたりする。</p> <p>③互いの考えについて意見を交わす。(関連させる)</p> <p>④司会が、どのような意見が出たかまとめる。</p> <p>⑤聞くグループが、討論の進め方でよかったところを発表する。</p> </div> <p>4 グループで討論する。【伝え合う】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①討論 (8分)</p> <p>②聞くグループからのふり返り (2分)</p> <p>③役割を交代して、討論する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、市役所の跡地をみんなが使える駐車場にするべきだと思います。駐車場の数について調べてみると…。 ・ぼくは、市役所跡地をみんなのための公園にするべきだと思います。学区にある公園について調べたところ…。 | <p>○討論をするグループ、聞くグループ、司会を確認させる。</p> <p>○討論の進め方は、掲示を活用し短時間で確認する。</p> <p>○聞くグループは、内容面ではなく討論の仕方について評価することを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><聞くグループの評価の観点></p> <p>①「話し合うために大切な言葉」を使えていたか。(「受け止める」・「関連させる」など)</p> <p>②司会は、出された意見の共通点を考えながら討論を進めたり、まとめたりしていたか。</p> </div> <p>○停滞しそうなグループを事前に把握しておき、すこやかサポートと連携し、机間指導にあたる。</p> <p>○討論カードを活用し、共通点は赤で囲ませたり、考えを関連させたときは線で結ばせたりしながら、討論の進み具合を視覚化させる。</p> | <p>◎友達のことを受け入れながらグループ討論を進め、互いの共通点や相違点に触れて、質問したり意見を述べたりしている。</p> <p>(発言・相互評価)</p> |

| | | | |
|--------------------|--|---|--|
| <p>ひろげ 10分</p> | <p>5 討論を通して、自分の考えが深まったり広がったりしたことを書き、発表する。 ○討論を通して、自分の考えが深まったり広がったりしたことを書きましょう。 ・いろんな考えが出てきたが、その理由に共通していることは、子どもから大人までみんなの役に立つものを作るべきだという考えだった。～ ・自分は公園がいいと思っていたが、討論することで駐車場にするべきだという考えに変わった。わけは、～。</p> <p>6 単元を通して身に付いた力や分かったことについて交流する。(まとめる) ○どのような討論をすれば、考えを深めることができましたか。 ・相手の考えに対して「なるほど」などの言葉を使い、相手の意見を受け止めること。 ・自分の意見を言うときは、根拠をしっかりと話すことが大切だということが分かった。 ・互いの共通点を考えながら討論すること。 ・互いの考えのよさを考えながら、よりよい考えを求めて討論すること。</p> | <p>○共通点や相違点に触れられるように、文型を示す。 「グループ討論をすることで見えてきた共通点は、～だった。そう考えると、市役所跡地は…にするべきだ。～」 「自分は～がいいと思っていたが、討論することで…という考えに変わった。わけは、～。」</p> <p>○本時の討論を振り返らせ、これまでの課題が少しでも解決できたか確認する。 ○討論の仕方に焦点を当て、単元全体を振り返りながら考えさせ、本時のまとめとする。</p> | <p>◇討論を通して見えてきた共通点や相違点に触れながら、自分の考えを書いている。 (学習シート・発言)</p> |
|--------------------|--|---|--|

(5) 板書計画

☆考えが深まったのはなぜ？☆
互いの共通点を考えながら話し合えたから。
↓みんなが納得できる考えへ
互いの考えのよさを考えながら、それぞれの考えを組み合わせることでできたから。
↓目的を達成させるための、よりよい考えへ

【討論を通して見えてきたもの】
○子どもから大人まで、みんなの役に立つ施設。
↓公園・駐車場
○震災を忘れないような施設。
↓石碑を建てる・震災資料館
○みんなの生活が豊かになるような施設。
↓駐車場とデパートを合弁体
…

【グループ討論の進め方】

「これまでの討論から見えてきた課題」
・相手の考えから共通点を見付けること。
・根拠を問う質問が少なかった。
・「なるほど、確かに。」などの相手の考えを受け止める言葉をあまり使えなかった。

グループ討論をしよう

「これまでの学習を生かし」「市役所跡地の活用」についてグループで討論し、自分の考えを深めよう。